

人材育成への取り組み

多様性を尊重した環境作り、有為な人材の育成等、 「人材価値」の向上に取り組んでいます。

開かれた雇用機会の提供

SBIグループでは採用において、プロフェッショナルとしての職歴や技能だけでなく人間性を重要視しており、性別・学歴・国籍は一切問いません。2006年から開始した新卒採用においてもこの基準に照らし、多様なバックグラウンドを持つ将来性の高い人材を多数採用してきました。新卒・キャリア採用にかかわらず、優秀な人材に対しては積極的に登用し、昇進させる姿勢を徹底しています。

多様な社員の活躍を支える取り組み

SBIグループでは、グローバルな事業展開に伴い、多様な国籍の従業員を雇用しており、社員一人ひとりが人種、宗教、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず活躍できるようさまざまな取り組みを行っています。

また、当社従業員のうち3割強を占める女性一人ひとりが、広い視野を持って自律的にキャリアを構築し、多様なフィールドで活躍できる職場環境作りにも注力しています。結婚や出産といったライフステージの変化に応じ、育児休業や短時間勤務

制度を整備するなど、仕事と育児の両立を中心に支援しています。同時に、採用・昇格・昇進などの全てにおいて性別に区別なく、実力に応じた評価を行っています。

女性従業員の状況(単体)

(単位: %)

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
女性従業員比率	30.9	27.9	33.1
女性管理職比率※	12.9	16.3	17.8

※ 当社社員の全管理職の内の女性管理職の比率

公正で社員の意欲に応える処遇

従業員の処遇は成果のみならず、結果に至るプロセスも重視しています。その評価は、半期ごとの目標達成度をもとに、経験、能力、業績への貢献度等に応じて総合的に判断して決定され、「功ある者には禄を与え、良識・見識ある者には地位を与える」という方針を貫いています。

SBI大学院大学を通じた人材育成への取り組み

SBI大学院大学は、SBIグループの全面支援によって、人材育成へ本格的に取り組むことを目指し2008年4月に開校しました。日本及び世界の経済・社会に活力をもたらす「有為な人材」を育成することを活動の主眼としており、「確たる倫理的価値観と判断力・実行力を持ち、広く経済・社会に貢献しようとする高い志を有する人材」「ビジネスにおける高い専門性を備えた人材」「国際的視野を持った人材」を輩出することを目指しています。

授業には多彩な教授・講師陣を迎え、最先端の経営学のみならず、『論語』や『兵法書』などに代表される中国古典の授業なども提供しています。これからの企業経営者やリーダーに欠くことのできない正しい倫理的価値観や人間力を涵養するとともに、幅広い教養を身に付けることができます。また

最先端のe-ラーニングシステムを採用しており、どこでも受講が可能です。

なお、当大学院大学は文部科学省より認可を受けており、卒業時に要件を満たした者には『MBA:経営管理修士(専門職)』を授与します。さらには、優秀な成績で修了した者が起業する場合や業容の拡大を志す場合、SBIグループがそれらを全面的にサポートしており、日本の未来を担う「有為な人材」の育成と支援を行っています。

